

2021年11月17日

土木界が保有する歴史資料を Web サイト上に展示・公開する ドボコレミュージアムをスタート！

公益社団法人 土木学会

公益社団法人 土木学会(会長 谷口 博昭)は、11月18日(木)より、土木界が保有する、普段目にするることができない貴重な写真や図面、歴史資料の数々を web 空間上にバーチャルで展示・公開する「ドボコレミュージアム」をスタートします。展示テーマは、「過去から未来。新しい TOKYO へ。」。本展示では、日本で開催された2つのオリンピックを軸に、世界でも高い生活水準を誇る都市 TOKYO を支えるインフラの魅力を社会背景とともにお伝えします。過去から未来へと脈々と受け継がれてきた土木の蓄積とともに、変貌を遂げてきた TOKYO をぜひ実感してもらえれば幸いです。

記

【展示概要】

1. Web サイト開設日:2021年11月18日(木)よりスタート
2. Web サイト:<https://www.jsce-dcm.com>
3. 主催:公益社団法人 土木学会[担当 土木広報センター]
4. 展示テーマ:過去から未来。新しい TOKYO へ。
5. 趣旨:

「TOKYO」って、どんなイメージ？

安全で、便利で、快適。高い生活水準を誇る世界都市だと答える人は多いでしょう。でも昔からそうだったわけではありません。江戸城が明け渡された 1868 年の 5 年前、ロンドンでは地下鉄(The Tube)が開業していました。明治の文明開化を経て近代国家への仲間入りを目指してから 150 年。日本は地震や戦争、災害など、幾度となく迫る苦難に直面してきました。

しかし、そのたびに乗り越えて TOKYO は進化してきたのです。街を便利に楽しめる地下鉄、火災の延焼を防ぐ幅の広い道路、台風から身を守る安全な川、日本の経済を動かす高速道路や新幹線——。先人たちの努力の結晶が、今の TOKYO を形成しています。

そんな TOKYO で、1964 年以来 2 度目となるオリンピックが 2021 年に開催されました。「TOKYO2020」です。熱狂に包まれたオリンピックを陰で支えたのが、社会基盤を意味するインフラストラクチャー(インフラ)でした。

「インフラ」は皆さんの生活を 24 時間 365 日、支え続けています。存在が当たり前すぎて、普段は意識することもほとんどないのではないのでしょうか？ 異なる時代に造られたインフラが、実は綿密な計画の下でそれぞれ折り重なって TOKYO を機能させているのです。

ドボコレミュージアムでは、土木界が保有する、普段目にするることができない貴重な映像や写真、図面、歴史資料の数々を web 空間上にバーチャルで展示・公開しています。

2つのオリンピックを軸に4つのパートに分けて、当時の社会背景とともにインフラの魅力をお伝えしています。

CHAPTER01 イン트로／軌跡

CHAPTER02 戦前～戦後／世界都市「TOKYO」の夜明け

CHAPTER03 1964／東京オリンピック前夜

CHAPTER04 その後／TOKYO2020 を経て次の世代へ

【展示 PR 動画】

<https://youtu.be/9V58vBremPY>



※本展示は、2019年11月14日～17日に、新宿西口広場イベントコーナーで開催した「土木コレクション2019」の展示コンテンツをもとに展開するものです。

以上

【本件に関する問合せ先】

公益社団法人 土木学会 土木広報センター 大西、佐藤、小林
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp